

第66回北海道書道展 公募要項・出品規定

公 募 要 項	1.展覧会	【会員・公募展】 2025年4月30日(水)～5月4日(日・祝) 札幌市民ギャラリー(中央区南2東6) 【参与会員・会友展】 2025年5月6日(火・振休)～11日(日) 札幌市民ギャラリー (入場料(税込))当日券 500円、前売券 300円 ※両展覧会共通(両展を各1回ご観覧いただけます)、高校生以下無料
	2.部門	第1部 漢字(3字以上、写経含む) 第2部 大字書(1字、2字の漢字) 第3部 かな 第4部 詩文書 第5部 墨象・前衛 第6部 篆刻・刻字
	3.鑑審査・賞	公募作品は会員によって鑑審査を行い、入選者には入選証を贈る。ただし、第65回展特選受賞者は、当該部門に限り無鑑査とする。入選作品の中から、優秀作品には特選、秀作を贈り、作品写真を作品集に掲載する。23歳以下の特選受賞者には、あわせてU23奨励賞を贈る。
	4.発表	4月上旬に出品者全員に成績を通知するほか、入選入賞者は4月中～下旬に北海道新聞紙上で発表する。
	5.表彰式	表彰式 5月3日(土・祝)午後1時30分(予定) 札幌グランドホテル 2階「金枝」 祝賀会 〃 午後3時30分 札幌グランドホテル 2階「グランドホール」
	6.その他	出品者は出品規定、鑑審査および展示について異議を申し立てることが出来ない。
出 品 規 定	1.出品資格	満16歳以上(生年月日が2009年4月1日以前の者)。道内在住者または道内在住経験者。
	2.出品作品、表装	未発表のものに限る。作品を裏打ちする台紙は、下記の指定取扱店(表具店)が指定したのものに限る。帯、枠を入れるなどの装飾を含め、作品への表装は一切認めない。作品に鉛筆での氏名記入をしない。
	3.作品の形式	作品はすべて裏打ちのまま鑑審査を受ける。
	4.出品点数	各部門とも1人2点までとする(2点とも同じ指定取扱店に提出すること)。 ※ただし、入選・入賞は1点のみとなる。
	5.作品の大きさ(作品本紙の大きさ)	Ⓐ 70センチ×136センチ以内(全紙) Ⓑ 55センチ×175センチ以内 Ⓒ 88センチ×88センチ以内 Ⓓ 篆刻は24.5センチ×36センチ以内 ※印影のみ出品のこと Ⓔ 刻字は2754平方センチ以内(一辺の長さは91センチ以内)
	6.作品締切	2025年2月28日(金)まで に下記指定取扱店へ 出品料とともに 届けること。(厳守)
	7.出品料(税込)	◎出品料には裏打ち代・取扱店手数料が含まれる。下記指定取扱店へ納入すること。 ① 24歳以上79歳以下 1点につき14,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ② 80歳以上 1点につき10,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ③ 19歳以上23歳以下 1点につき10,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ④ 16歳以上18歳以下 1点につき 5,000円。同一部門2点出品者は2点目5,000円。 ※年齢は 2025年4月1日現在の満年齢 。
	8.添付書類	出品票(コピー不可) ※第64回展、第65回展に出品された方は指定の出品票Ⓐ (出品者の氏名やバーコードなどが印字されたもの)を使用すること。紛失などで出品票が必要な場合は、事務局までご連絡ください。
	9.展示	全入選・入賞作品は貸枠装のうえ展示する。 貸枠料10,000円(作品サイズⒷは11,000円、篆刻は4,500円)は別納 とし、 4月1日から4月22日までに指定取扱店に納入 すること。装丁によって追加料金がかかる場合がある。詳しくは指定取扱店に問い合わせること。また、特選作品の一部が移動展に回ることがある。 ※料金は税込
	10.移動展	入選・入賞し移動展出品を希望する場合は、出品票の「移動展希望会場欄」に記入すること。移動展出品手数料を取扱店に納入すること。手数料は1会場につき3,300円(第6部は1,100円)。函館展は手数料のほかに2,000円の協賛金が必要、協賛金の支払方法は函館展事務局よりご連絡します。 ※料金は税込 <函館展>6月25日(水)～6月29日(日) 道立函館美術館 <網走展>7月 8日(火)～7月27日(日) 網走市立美術館 ※追加申込は4月17日(木)までに事務局と取扱店に連絡すること。
	11.その他	・上記出品規定に沿わない場合は受け付けない。 ・作品の保管は5月末日までとし、その後の責任は負わない。(移動展出品者は8月末日まで) ・返送希望の場合は返送手数料2,500円(税込)を出品料と同時に納入すること。 ・発表、賞状、名札は出品票の姓号、字体を使う。ただし、新聞発表の際は常用漢字に直すこともある。
指定取扱店	・京美堂 〒005-0021 札幌市南区真駒内本町3丁目7-12 TEL・FAX011-581-6661 ・昌文堂 〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-23 TEL011-746-5221 FAX011-746-2070 ・日成堂 〒064-0922 札幌市中央区南22条西9丁目アートパレス2階 TEL011-561-9074 FAX011-561-3981	

招待作家

中野 北溟

参与会員

我妻 緑巢 安藤 小芳 今多 錦鳳 岩村 遊希 宇野 雉洞 奥村 素紅 長内 敬子
加藤紀久子 加藤 幸道 亀岡 芳扇 北川 稲谷 北濱 希石 君 庸子 熊川 景子
小原 道城 近藤 紫陌 酒井 精舟 島田 一嶽 島田 青丘 白土 恵香 杉山 歌子
杉山 透雪 鈴木 紅舟 大門 玉泉 高橋 海堂 高橋 静峯 高畑美智子 竹内 松韻
竹内 津代 竹浪 翠堂 田中 翠甫 椿澤 雷鷲 中嶋 香苑 中野 歸山 中野 層翠
袴田 瞳 原田 示峰 伴 恵美子 東志 青邨 本間孤峯正啓 水上 祥邦 水野 松雪
茂呂 小袖 八巻 水鷗 山田 太虚 山本 玉沙

会員

※審査は当番審査員(〇印)によって行われます

<第1部 漢字>(44人)

〇飯塚 大海 石井 翠星 〇石田 壱城 〇井上 夕霞 〇井村 啓達 〇大橋 静琴 〇加藤 青園
木村 翠苑 國澤 翠風 小原 藝城 桜居 玉香 〇佐々木香流 〇佐藤 幸葉 〇佐藤 翔雲
〇島田美紀子 清水 謙語 〇鈴木 紅藍 〇鈴木 繁樹 清野 春荘 〇高橋 素香 竹村 節子
出村 太幹 永原 博子 〇中村 懐玉 浪田 美芳 〇成田 成峰 橋本 圭風 長谷川大雅
服部 柚香 早坂 壱陽 〇樋田 香雪 平井 翠雪 福田 遥岑 藤本 清泉 〇本間 太洲
松山 朴羊 〇水間 臥猪 〇宮沢 爽光 山内 虹苑 〇山内 太鶴 〇吉岡 静風 〇和田 遙花
渡辺 美鴻 〇渡辺 美明

<第2部 大字書>(38人)

青木 空豁 〇石川 洋介 石澤 俊介 〇太田 欽舟 〇小笠原紅華 小川 博水 〇奥家 秀岳
加藤 東虹 〇鎌田 珠泉 〇河端 桃香 河村 遊霞 〇清兼 吼 久保田朴雲 〇小林 慶風
〇小林 聖鳳 〇駒澤 静秀 〇今野 冲岳 〇作間 煌道 〇椎名 恵舟 嶋津 玉泉 〇高橋 祥雲
〇高橋 伸厚 〇高橋 竜平 〇瀧野 喜星 土坂 悠心 〇西田 真洲 野中 竹峰 羽毛 蒼洲
細川 貴久 松永 律子 湊 蒼玄 〇山崎 大寒 山田 起雲 〇吉田 卓 〇吉田 晴賀
吉見 奎鳳 〇渡邊 層山 渡部 天外

<第3部 かな>(34人)

明石 郁子 〇阿部和加子 大川壽美子 〇押上万希子 小野木沈香 〇北 彰子 木村 征子
草薙 正子 〇紅林 幸子 〇河内 栄子 〇佐々木公江 佐々木優子 佐藤 伸子 〇下村 美穂
東海林淳子 〇菅原 京子 鈴木 竹華 〇関 祐子 〇竹本 きみ 千葉 和子 〇常田かおる
〇寺田 千秋 〇土井 一剛 〇長岡真貴子 〇長佐古良子 〇滑志田方苾 二階堂友美 野田恵美子
〇野中 里恵 乗木美穂子 福本 恭子 〇眞木千賀子 村田ゆかり 山田 香園

<第4部 詩文書>(61人)

相澤 太煌 〇秋山 翠聲 阿部 寿山 在田 佳子 安保 天壽 〇井川 静芳 〇石原 北陽
〇磯波 水鈴 〇市橋佐代子 〇伊藤 紫園 〇遠藤 香峰 大泉 堅治 〇大川 一濤 〇大川 宣子
〇大高 蒼龍 小野 陽子 葛西 青龍 加藤 正叙 〇金久保天翠 金谷 紅麟 川原 薫
〇清本 和子 〇小林 融之 齋藤 大麓 櫻井 九晨 〇品田 國子 〇上西 弘美 〇鈴木 大有
須田 廣充 大上 凌胡 〇高橋 魁山 〇瀧野 時雪 田中真喜子 〇槌本 祥芳 〇出村 耕山
〇天満 篤子 〇天満谷貴之 〇土井 伸盈 〇東藤 義文 飛世 智恵 〇中上ゆかり 〇中河 濤人
〇中川 蘆月 〇新井山蘭牛 〇西 恵翠 〇橋本 聳山 東方 鳳山 〇古谷 玄山 籬 宥行
〇松岡 一真 溝 掬水 宮岡 蝶溪 〇宮崎 騁洋 〇茂垣 回歸 大和 鳥啼 〇山元 昭子
横山 晃秀 吉川 海夏 〇吉川 海斗 吉田三枝子 〇吉野 祥琴

<第5部 墨象・前衛>(22人)

〇在間 實 〇上戸 抱山 〇太田 秋源 〇菊地 紀仁 〇北川 和彦 〇木村 蒼人 〇木村 大猷
〇熊谷由加里 〇小嶋 康博 〇佐々木信象 〇塩崎 艸 〇白石 弥生 〇高橋 蘇山 〇竹下 青蘭
〇寺島 春代 〇野坂 武秀 〇三上 雅倫 〇三上 禮子 〇湊 天邦 〇湊 久子 〇八重柏冬雷
〇山崎 光雲
<第6部 篆刻・刻字>(8人)
〇飯田 邦生 〇太田 幽琳 〇上山 天遂 〇小泉 和雄 〇越坂 久雄 〇下山 邃堂 〇高橋 玉堂
〇水島 栄美

(50音順・敬称略、2024年11月30日現在)

主催 北海道新聞社

後援 北海道 北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会 北海道書道連盟

事務局 〒060-8711札幌市中央区大通東4丁目1 北海道新聞社ビル 6階
TEL011-241-5161、FAX011-232-5147
(月～金10:00～17:00、土・日、祝日、年末年始は12月26日から1月5日まで休み)
URL https://doshin-bj.jp